

特定分野に特異な才能のある子どもと特別支援教育

中野 広 輔

「才能児」や「ギフテッド」という言葉を聞くと、どのような子どもを思い浮かべるだろうか？ 特定の分野にきわめて秀でた能力を有する、知能指数(IQ)がずば抜けて高い、など「秀才」を超えた「天才」のようなイメージではないだろうか。ギフテッドという語は、その才能が「ギフト」すなわち「贈り物」であるという考え方に由来している。では、誰から贈られたのかという点、欧米圏では「神から与えられた才能」ということになる。日本語の天才も「天から与えられた才能」を意味しており、ギフテッドや天才とは、特別な教育なく、生まれながらにして類まれな才能がある状態といえる。しかし、才能児やギフテッドには明確な定義はなく、安易にそのようなよび方をすることによる誤解や先入観には十分注意する必要がある。

才能児やギフテッド、天才の印象として、前述のような、類まれな才能と同時に内面的な不安定感や適応の難しさを思い浮かべる方も多いのではないだろうか。事実、著名な偉人のエピソードの中には同世代の子どもたちや標準的な教育制度になじみにくかったという話もある。才能児がこのような不適応感を抱きやすい場合、(一)才能がずば抜けているため同世代の友達や学年相応の学習に適応できず、(二)才能と同時に併存する特性を指摘している。

具体的には、教師一人ひとりと管理職・教育行政の理解、多様な学習の場やICT(情報通信技術)の活用、学校外リソースの活用や学校との連携をあげており、特別支援教育の目的・方法に一致している。さらに、特異な才能がありながらも個人内認知特性の偏りや、過敏性も有すること起因する適応困難の可能性に言及しており、適切なアセスメントツールの活用や専門性を有する教職員のかかわりが有効であった事例を報告している。これは、まさに特別支援教育そのものといえる。

近年、発達障害と特異な才能が併存する「2E(Twice exceptional: 二重に特殊な)児」という概念が注目の的になっている。一人ひとりの多様な才能や認知特性を理解し、安心して学べるように取り組んだ事例を蓄積しながら実証研究を進めていくことが、個人のためだけでなく、共生社会を実現していくためにも大切なことではないだろうか。

二〇二二年九月、文部科学省は「特定分野に特異な才能のある児童生徒に対する学校における指導・支援の在り方等に関する有識者会議」における審議のまとめを公表した。その中で、わが国の学校教育制度では特異な才能を見出し、伸長を図るシステムが整備途上であり、多様な特性・才能に個別最適化した学びが実現できる環境を整える重要性を指摘している。

能が併存する「2E(Twice exceptional: 二重に特殊な)児」という概念が注目の的になっている。一人ひとりの多様な才能や認知特性を理解し、安心して学べるように取り組んだ事例を蓄積しながら実証研究を進めていくことが、個人のためだけでなく、共生社会を実現していくためにも大切なことではないだろうか。

インクルーシブ保育の実践
——共生社会の実現をめざして——

小山 望

インクルーシブ保育の実践研究をはじめて三十年以上になる。保育現場に定期的な足を運び、子ども同士のかかわりや保育者と子どものかかわりの行動観察記録を行い、その結果を保育者や研究者と意見交換してきた。保育者と意見交換してきた。保育者と意見交換してきた。保育者と意見交換してきた。

教科書採用特典として図表データ等がダウンロードいただけます

対象書籍を20部以上ご採用の先生方に向け、特典として教科書中の図表データをダウンロードいただけるようになりました。当社HPよりお申し込みください。

【対象書目】

Nブックスシリーズ
カレントシリーズ
特別支援教育免許シリーズほか

*対象書籍は今後も拡充してまいります。



景に、障がいのある子どもを幼稚園や保育所が受け入れて統合保育を進めていた時期である。統合保育とは、障がいのある子どもとない子どもを一緒の場で保育することである。また、障がいのない子どもも集団を中心とした保育プログラムで実施されているクラス活動に、障がいのある子どもが個別支援を受けながら参加していく保育形態である。そのため、障がいのある子どもも、クラス活動に参加することを求められるが、実際には放置されたり、本意な活動を強制されたりするという問題が生じている。障がいのある子どもや外国籍の子どもが入園したのであれば、誰もが参加できる活動や自由な遊びに保育プログラムを柔軟に変更していくべきであろう。みんなが同じ活動をしなければならない理由はない。こうした保育の根底には「みんなが同じ活動」という伝統的な保育観がある。

ユネスコとスペイン政府が開催した「特別なニーズ教育に関する世界会議」で採択された「サラマンカ声明」(一九九四年)は、世界各国にインクルーシブ教育のアプローチを推進するために基本的施策の転換を求めている。さらに、二〇〇六年の国連総会での「障害者権利条約」の採択が契機になり、日本でも二〇一

四年にこの条約を批准したが、いまだにインクルーシブ教育体制が不十分で浸透していない。しかし、保育現場では徐々にインクルーシブ保育を実践する園が増えはじめていて、筆者は、日本保育学会で毎年のようにインクルーシブ保育をテーマに自主シンポジウムを企画しているが、参加者の数が毎年増加し、以前より関心をもつ保育者が増えていくと実感している。シンポジウムでは、集団保育プログラムを見直し、子どもの多様性を反映させ、どの子どもも参加できる遊び(コーナー遊び、異年齢クラスの遊びなど)や保育者が媒体になつて子ども同士のかかわりをつくるための遊びを提案してきた。インクルーシブ保育の原点である多様な子ども一人ひとりを大切に

に保育は共生社会の実現に寄与している。障がいの有無に関係なく、子ども自身が自由に遊びや仲間を

選択できる保育は、みんなと同じ活動をするという呪縛から解放された保育者自身も楽しい保育を実感できるはずである。

最後に、拙編著『だれもが大切にされるインクルーシブ保育』を建帛社から昨年八月に上梓している。インクルーシブ保育の考え方や具体的な保育方法などを参考にしていただきたい。

(田園調布学園大学教授)

伝統的発酵食品を科学的に解明する

齋藤 昌 義

中国には、豆腐を発酵させた「腐乳」という食品があります。沖縄の「豆腐よう」は、この腐乳が伝わり改良されたものです。腐乳は、塩分が多く調味料として使用されることが多いのですが、最近では、減塩した製品が望まれています。ただし、発酵には麹菌などが用いられ、塩分濃度が異なると仕込みにも使用される塩分量が異なることがわかっています。各地域の魚醤の発酵に関係する乳酸菌を調べたところ、塩分濃度の高い魚醤では、耐塩性の乳酸菌がはたしており、塩分濃度の低いものとは異なる乳酸菌が重要であることが示されました。このことは、発

酵状態にも影響を及ぼします。中国における研究では、腐乳の発酵中にはたらく酵素であるβ-グルコシダーゼの活性を測定しました。製造中に塩分濃度が上昇すると、この酵素活性が低下し、イソフラボンの糖鎖が切断されるなどの反応が抑えられることを明らかにしました。このことは、発

新刊専門書

福祉施設・病院等における給食BCP導入の手引き B5フルカラー 84頁 別冊16頁 4950円

須藤紀子・新藤由芽・水野怜香・真城源学 共著

給食におけるBCP作成・遂行に何が必要かを、豊富な具体例を通して学ぶ。給食設備を有する施設でのBCP策定に向け必携の手引き書。

日本食品標準成分表(八訂)分析マニュアル・解説 B5 368頁 9680円

安井明美・渡邊智子・日本食品分析センター 編著

・成分値の定量・策定に用いられた分析法を詳説。実際に分析にかかわった研究者による参考情報、操作の留意点等の解説を付す。

持続可能な社会と人の暮らし 持続可能な生活研究会 編

新刊教科書

Nブックス スポーツ栄養学 高田和子 編著 B5 192頁 2750円

栄養疫学 栗木清典 編著 B5 176頁 2970円

食と健康のデータサイエンス 石原淳子・高地りべカ 編著 B5 176頁 2860円

公衆栄養学・栄養疫学実習 2019〜2023年度実施分 2月刊 B5 176頁 2860円

2024年版(2019〜2023年度実施分) 2月刊

栄養士実力認定試験過去問題集 フードスペシャリスト資格認定試験過去問題集 A4判/96頁(別冊解答・解説5年分付) 予価1320円

A4判/100頁(別冊解答・解説5年分付) 予価1430円

日本フードスペシャリスト協会 編

教職ライブラリシリーズ

教職入門 住本克彦 編著 B5 144頁 2420円

「教育学のエッセンスから学ぶ」 特別の支援を必要とする子どもの理解 細田富夫・伊勢正明 編著 A5 192頁 2200円

2024年近刊

教育原理 佐藤 環・菱田隆昭 編著 B5 160頁 2530円

美術科教育の基礎 福田隆興・福本謙一 監修 B5 200頁 2860円

子ども中心の実践に学ぶ 清水陽子・新井美保子 編著 B5 128頁 2090円

保育内容総論 吉田真弓 編著 B5 192頁 2090円

教育課程・保育計画総論 戸田雅美・西本 望 編著 A5 144頁 1980円

乳幼児から小学校教育へつなぐ計画 シードブック 飯島典子・本郷一夫 編著 A5 144頁 1980円

子どもの理解と援助

福祉ライブラリ

司法と福祉 菅原好秀 著 A5 336頁 3960円

対象者主体の支援のために

改訂教科書

Nブックスシリーズ 各巻B5判

新版改訂 食品学Ⅰ 青柳康夫・齋藤昌義 編 240頁 3190円

新版 臨床栄養学(第5版) 田中 明・加藤昌彦 編著 248頁 3190円

